



【住居址から出土した矢じり】

どが出土しています。

これらのことから、この地方の人々が死者の埋葬の際に、これらの物をそなえる風習がすでに始まっていたことがわかります。

さらに土塚の中から、中国銭や寛永通宝などの六文銭が発見されたことは、当時から三途の川を渡るには六文銭が必要——といわれていたことを物語っています。

しかし、これらの出土品に限られた土塚から発見されたことは、生前の身分を意味していたと考えられます。

D・F地区

地元有力者の古墳？

伝法F地点とした横沢古墳は、6世紀の後半ごろ造られた直径16mの円墳で、当時に近い状態で残っていました。

自然の石を用いた横穴式石室で、この形態の古墳としては大型のものです。

古墳の中から人骨・馬具・鈴・直刀・土器などが多く出土しました。

この古墳の特徴は、7世紀頃石室



【住居址から出土した小刀】

を改造してあり、このようなことは他の古墳ではあまりみられません。

伝法D地区の中原古墳は、8世紀の初めごろに造られた長さ3mの小さな古墳で、開懸などにより大部分が崩されていました。しかし、中からは勾玉や水晶製の切子玉などの副葬品が190点ほど発見されました。

この二つの古墳は、いずれもこの地方の有力者の墓と考えられます。

律令体制下の中心的役割

今回の発掘調査によって、東平遺跡解明の貴重な資料となる、住居址や土器、鉄製品など多数が発見されました。

この時代、奈良の都では、律令



A地区から出た集落址

(現在の法律)に基づき天皇を中心とした中央集権の政治が強くおし進められていました。そのため地方の人々は、律令に基づく税負担や労役に窮乏とした生活を送っていたと思われれます。この東平遺跡も他の遺跡と比べ規模がきわだって大きいことから、律令体制での地方の中心的役割を果たしていた集落だったと想像されます。

一六〇〇	一五〇〇	一三〇〇	一〇〇〇	八〇〇	七〇〇	五〇〇	西暦
江戸時代	安土桃山時代	室町時代	鎌倉時代	平安時代	奈良時代	飛鳥時代	古墳時代
徳川家康が江戸幕府を開く	豊臣秀吉が全国を統一	足利尊氏が室町幕府を開く	源頼朝が征夷大将軍となり鎌倉幕府を開く	平安京遷都	平城京遷都	大化の改新	伊勢塚古墳 浅間古墳
伝法A～D地区土塚群				東平遺跡			区時代
伝法B地区土塚墓							主なできごと
							発掘区分

あの街



わが街



愛娘マキちゃんを抱っこする  
亀田美由紀さん(26歳)  
水戸島本町

—— 富士市に来られてどの位ですか。それと印象を……。

亀田 1年4ヵ月になるかしら。臭いと煙にまず驚ろきました。

でも、真正面に大きな富士山が見えるし、自然が広々として土のおいもすてきデス。私は横浜で生れ育ったので、とてもそのことを感じます。

—— 横浜と富士市との違うところはどんなことだと思いますか。

亀田 横浜は新しいことがどんどん入ってくるし、市民の反応が敏感でした。ここへ来て思うんです。なまいきかもしれないけど、タテの社会が強く他人の生活に立入りすぎる

ようですネ。社会的なみんなの声がないみたい。だからとても仲間づくりがむずかしいですね。働きかけるとひっこんでしまう感じ……。もっといろんなことを言い、いろんな活動をやればいいのに。満足しているのかしら……。それと、若い人の活動がみられないみたい。

—— 富士市がどんな街になってほしいと思いますか。

亀田 市民が活動する活気ある街になってほしいですね。それと広報紙に注文をしたいんですけど、市民が利用できる伝言コーナーみたいな欄を設けてほしいワ。